

# 一期一会

伊集院中学校人権・同和教育係

## ヒューマンバンド「熱と光」

### 宮崎 保さんの講演（演奏）

10月12日（土曜授業）8：50～10：30（伊集院中学校体育館）

演題「ちょっと心をかしてくれませんか」

ヒューマンバンド「熱と光」の宮崎保さんが伊集院中での講演（演奏）のため福岡から来鹿されます。その宮崎さんをちょっと紹介します。

1950年生まれ、1995年ヒューマンバンド「願児我楽夢」を結成。2008年に「願児我楽夢」卒業。ヒューマンバンド「熱と光」結成。CD制作「熱と光を」「心パートⅡ」。出版図書「とうちゃんはトビ」「しめかざり」。

小学校の頃、学年で2番目に小さかった。いつも「いじめ」にあっていた。スポーツがとても苦手だった。そんな私が、スキー・カヌー・自転車を楽しんでいる。

小学校の頃、字がきたなくて作文が苦手だった。そんな私が絵本を出版した。

小学校の頃、音楽は「音<sup>おん</sup>が苦」だった。そんな私が音を楽しんでいる。

子どもたちのつまずきの中で、「どうせ俺なんか」「どうせ私なんて」と一度や二度の失敗で、全てに自信を無くし苦しんでいる。そんな人へ私は言いたい！「俺を見ろよ。35歳からカヌー・スキー。40歳からロードレース。45歳からバンド活動。夢を求めるのに年齢は関係ない！多くの挫折から、生きる喜びを学んだ。」

宮崎さんの2年前の講演より

「94歳になる母の介護をしています。つれあい(妻)はガンになって、今、鬱<sup>うつ</sup>状態になっています。嫌になることがありますよ。母の湿布をしてご飯たべさせて・・・毎日食事作らないといけない。朝、昼、晩。でもね、私嫌になったときがあっても、おまえは何のために人権学習をずっとしてきたんだ、同和教育をどんな風にうけてきたんだ、自分に問い返すんです。世の中の差別をなくすとか、人のためとかじゃない、結局は自分のためだったんです。私が何もせんかったら、母を捨てているかもしれん。つれあいとは離婚しているかもしれん。自分だけが良かったらという気持ちになっているかもしれん。けども40数年間、私は差別の勉強をしてきた成果が自分に出ているんだな、そんな風に思う訳なんですけどね。」



私（福永）は今までに数回宮崎さんの講演（演奏）を聞いている。そのたびにエネルギーを頂いている。それは、演奏のみならず、宮崎さんの人柄からも受けている。まさに宮崎さん自身が「熱と光」なんだと思う。しかし、最初から強い人なんていない。きっと、苦しい、辛い思いを乗り越える毎にたくましくなったのではないか。そして、自らに課題を課し、挑戦し続けてきたのではないかと思う。それが人として誇り高き生き方ではないだろうか。バンド名の「熱と光」がまたいい。水平社宣言の最後に「人の世に熱あれ、人間に光あれ。」とある。まさにこの思いを受け継いでいるのだ。（水平社宣言は社会で学習して下さい）